

飛躍

静岡県東部地域の活性化を考える

2015年度のおゆみ

C O N T E N T S

● ごあいさつ	3
● 2015年度のあゆみ	4
● 特集 I スポーツ産業の創出	6
● 特集 II 新たな観光交流の促進と支援	8
● 特集 III 世界遺産を守り、育てる支援	10
● 特集 IV ファルマバレー第2ステージへ	12
● 特集 V 人と動物が共生できる社会へ	14
● サンフロントから情報発信 ラジオEAST	16
新聞特集記事「風は東から」	17
● 2016年度活動方針	18
● サンフロント21懇話会会員名簿	20
● 運営委員長挨拶	27

ごあいさつ



サンフロント21懇話会
代表幹事
スルガ銀行社長

岡野光喜

2015年は、7月に韮山反射炉が世界遺産に登録され、さらに12月には、東京五輪・パラリンピックの自転車競技(トラックとMTB)の伊豆市開催が決まるなど、世界遺産・富士山の認定以来、国内外の耳目を集める喜ばしい出来事が東部地区に相次いでいます。

サンフロント21懇話会は、環富士山地域の広域連携の必要性から、昨年、岳南地域に限定していた「富士地区分科会」を「富士山地区分科会」に改め、御殿場市で「第1回富士山地区分科会」を開催し、世界遺産・富士山を守り、生かす方策について議論を深めました。伊豆地区でも世界遺産・韮山反射炉の活用に始まり、伊豆の地域資源の魅力を世界に発信する取り組みを探るなど、地元に着目したタイムリーなテーマを設けました。

今年は静岡県がイタリアと自転車を通じた交流を開始し、秋には富士山と伊豆半島でサイクリング大会が開催されます。世界トップレベルのサイクリストが大勢、参加します。東京五輪のレガシー(遺産)とすべく、東部・伊豆地区を自転車競技の聖地(メッカ)にしていきましょう。スポーツを通じた地域創生に取り組む、出発年に位置付けたいと思います。

4月中旬に発生しました熊本地震は、東海地震と向き合う静岡県民にとって対岸の火事ではありません。人と人のつながり、ネットワークを強めるためにも、サンフロント21懇話会が熊本県や大分県の皆様に何らかの形でお役に立ちたいと思います。

サンフロント21懇話会は今年、発足22年目を迎えます。東部地域活性化の提言団体として、会員の皆様の思いは、設立当時も現在も変わっていないと確信しています。従来にも増して地域への思いをサンフロント21懇話会に注いでいただきたく、会員の皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。



静岡新聞社
社長

大石 剛

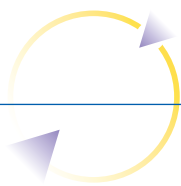
2015年度はスポーツの持つ地域へのさまざまな波及効果に着目し、スポーツ産業の創出支援をはじめ、富士山と韮山反射炉を視野に入れた世界遺産を守り育てる支援、社会資本の整備促進、人と動物の未来センターの開設支援の一の4つを活動テーマとしました。

5月の総会では5大会連続でサッカーW杯の実況中継を担当した山本浩法政大学教授(元NHKアナウンサー)、12月の全体会では元サッカー日本代表で、地元アスルクラロ沼津に所属する中山雅史氏をゲストに招き、刻々と変化と進化を遂げる内外スポーツ界の現状を認識していただき、地域を活性化させる住民コミュニティの中心となる総合型スポーツクラブの重要性などを提言させていただきました。

また、名称を変更した富士山地区分科会は世界遺産・富士山の活用と保全、伊豆地区分科会では伊豆半島の魅力あふれる地域資源の利活用と発信方法などをトークショーやパネル討論を通じて議論、提言しました。そして東部地区分科会では、犬猫の殺処分ゼロの実現など動物に優しい地域づくりに不可欠なアニマルシェルターの必要性を訴えました。

4月中旬から続く熊本地震は、南海トラフ巨大地震に備える本県にとっては決して他人事ではありません。自らの命を守ることを最優先とし、事業継続計画(BCP)を未策定の会員の方には、実効性の高い事業継続計画づくりに着手していただきたいと思います。

昨年末、2020年の東京五輪・パラリンピックの自転車競技(トラックとマウンテンバイク=MTB)の会場が伊豆市に決定しました。静岡県初の五輪は、東部地区の活性化に向け、官民一体で提言を行っているサンフロント21懇話会の真価が問われる一大イベントです。世界中にこの地域の魅力を体感していただく絶好機です。嬉しさと同時に大きな責任も覚えました。これまで以上に、会員の皆様方のお智恵を拝借し、ご支援、ご協力をお願いする次第です。



2015年度のあゆみ

元NHKアナウンサー
法政大スポーツ健康学部教授
山本 浩

「一人一人の声を聞け
一視点を変えるスポーツ界」



NPO法人全国街道交流会議
専務理事
古賀 方子

「街道と地方創生
～しずおかの事例から」



2015年度 活動方針

[基本方針]

- ・広域連携の推進
- ・新たな観光交流戦略の促進と支援
- ・ファルマバレープロジェクトの推進

[活動テーマ]

- ・人と動物の未来センターの開設支援
- ・世界遺産を守り、育てる支援
- ・スポーツ産業の創出支援
- ・社会資本（インフラストラクチャー）の整備推進

政府認定「観光カリスマ」
山田 桂一郎

「選ばれ続ける地域とは」



元サッカー日本代表
アスルクラロ沼津所属
中山 雅史

「あくなき現役への執着
～なぜボールを追い続けるのか～」



◆ 2015年5月

活動記録「飛躍」発行

2014年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍」（A4判、28頁）を発行した。総会、分科会の活動の足跡をはじめ、14年度の基本テーマに沿った地域の動きについて掲載。2015年度の活動方針も紹介した。

◆ 2015年5月26日

総会

2015年度総会には、会員の企業経営者、首長、県議ら約150人が出席した。広域連携の推進、新たな観光戦略の促進と支援、ファルマバレープロジェクトの推進に向けた本年度の活動方針を決めた。記

NPO法人
「アニマルレフュージ関西」理事長
エリザベス・オリバー

「なぜ日本にアニマル
シェルターが必要なのか」



共同通信社編集局次長
新堀 浩朗

「皇室取材の現場から」



念講演は、元NHKアナウンサーでサッカーワールドカップの実況を5大会連続で担当した法政大スポーツ健康学部教授の山本浩氏。元サッカー日本代表監督のイビチャ・オシム氏の哲学を取り上げ、「相手を尊重した言葉を使い、事実に向き合ってしっかりと伝える。一人一人を大切にできる精神からスポーツが始まらないと進まない」と強調した。

◆2015年7月22日

伊豆地区分科会

伊豆地区分科会は、世界遺産の構成資産に登録された韮山反射炉、世界認定が見込まれる伊豆半島ジオパークなど貴重な地域資源を伊豆全体の活性化につなげる手法を考えた。

NPO法人全国街道交流会議専務理事の古賀方子氏が「街道と地方創生～しずおかの事例から」をテーマに基調講演した。パネル討論は「世界に輝く伊豆の創生」をテーマに、伊豆半島全市町で結成した「美しい伊豆創造センター」会長を務める函南町の森延彦町長、県立大経営情報学部講師の国保祥子氏、落合楼村上（伊豆市）社長の村上昇男氏と古賀氏が登壇し、意見を交換した。

◆2015年11月2日

富士山地区分科会

これまでの富士地区分科会を富士山地区分科会と名称を改め、御殿場市で初開催し、世界遺産富士山が真の観光地を目指して進むべき方向性を探った。

基調講演は「選ばれ続ける地域とは」をテーマに、政府から「観光カリスマ」に認定されているスイス在住の山田桂一郎氏が行った。国内外で地域振興のプロデュースやマーケティングなどに当たっている経験を基に富士山地区の今後の歩むべき姿を助言した。

「世界遺産『富士山』を真の観光地とするために」と題したスペシャルトークには富士宮市で自然農法やレストラン経営を続ける女優の工藤夕貴氏が登場した。山田氏との対談を通じて富士山への思いを語った。

◆2015年12月15日

全体会

全体会は、元サッカー日本代表でアスルクラロ沼津所属の中山雅史選手が登壇し、生涯現役にこだわるその姿勢と情熱を「あくなき現役への執着～なぜボールを追い続けるのか～」と題したトークショーで語った。

◆2016年2月18日

東部地区分科会

沼津市のプラサヴェルデで開いた東部地区分科会は講演とパネル討論を通じて、人と動物が共生できる社会の実現に向けて取り組むべき道を探った。官民の会員や動物愛護ボランティアなど約140人が参加した。英国生まれで、日本で動物保護の活動に尽力するNPO法人「アニマルレフュージ関西」理事長のエリザベス・オリバー氏が基調講演し、動物の保護活動について欧米と比較しながら日本の実情や課題を語った。

パネル討論には、オリバー氏、動物愛護の先進国ドイツの滞在経験もある伊豆市長の菊地豊氏、NPO法人県補助犬支援センター理事長の川口綾氏が登壇し、それぞれの体験や取り組みを踏まえて意見を交換した。

◆2016年3月30日

合同会議

幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議との合同会議を開いた。中長期的に取り組む提言・支援活動として従来の三つの方針に「2020年東京五輪・伊豆市開催の支援」を加える16年度活動方針案を示した。共同通信社の新堀浩朗編集局次長が「皇室取材の現場から」と題して記念講演をした。

懇話会が着目する「スポーツが持つ地域への波及効果」。昨年、2020東京オリンピック自転車競技の伊豆市開催が決まったことは、大きなインパクトを地域に与えました。静岡県は「本県をサイクリングの聖地に」を合言葉に、16年度から自転車関連の施策を戦略的に進める予定です。また、沼津市を本拠地とするサッカーJFL「アスクラロ沼津」は、元サッカー日本代表の中山雅史選手を迎えJ3を目指します。



■五輪自転車競技(トラックレース)の開催が決まった伊豆ベロドローム

県内初の五輪開催

開催地となる伊豆市は4月1日付で「東京オリンピック推進課」を新設。交通環境や宿泊者対応など、2020年に向け、市が取り組むべき課題について対策をとっていきます。また県も、自転車への関心の高まりを戦略的に進め地域振興に生かそうと、本年度から協議会を立ち上げます。観光、スポーツ、道路など自転車に関連する部局を横断的にまとめ、専門家、サイクリスト、地元自治体、警察などと協力し、「自転車を楽しむ」「自転車競技を応援する、支える」「基盤整備」の三つの視点で、「自転車の聖地・静岡県」を目指します。

昨年秋に、県は自転車が盛んなイタリア・フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州とスポーツ交流協定を結び、サイクリング大会への相互参加を通じた交流が始まりました。今後は本県の魅力を生かしたサイクリングコー

スの選定や大会の開催、地元自治体の自転車施策への理解促進、選手をはじめ世界大会などを運営するスタッフの育成などが予定されています。



■イタリアの大会での静岡県PRブース

県東部・伊豆地域サイクルネット構想

県、東部の市町、企業からなる「県東部地域スポーツ産業振興協議会」（会長・三島信用金庫稲田精治理事長）は、全国からスポーツサイクル愛好者を呼ぼうと富士山、駿河湾、伊豆半島を周遊するサイクルネット構想（富士山ネットワークリング）を提案しています。

サイクリストは全国で1200万～1300万人、主に40～50代以上の経済的にゆとりのある層。県東部・伊豆地域は、首都圏からも近く、食の魅力や宿泊施設など観光資源にも事欠きません。レンタル自転車回収の仕組みやゲストハウス、民泊などを組み合わせれば外国人観光客を取り込める可能性もあります。しまなみ海道のような地域経済の活性化につながる取り組みです。



■富士山ネットワークリングのイメージ

全体会で中山選手のトークショーを開催

懇話会全体会は、「アスクラロ沼津」に所属する元サッカー日本代表の中山雅史選手のトークショーを行いました。中山選手は「まちにスポーツクラブがあり、象徴的なものになってくれれば、それがみんなの拠り所になる。また、アスルが活躍することで『私たちのクラブが』という気持ちが芽生え、熱くなれる。それが家族の会話にも絶対入ってくる。先々そんなふうになっていければ最高」と語りました。また、「今後も東部が丸丸となってアスルを盛り上げていくことが活性化につながる」とトークショーをまとめました。



■中山選手が熱い思いを語った
（聞き手は澤木久雄SBSシニアプロデューサー）

「地域密着のクラブ運営を目指す」

山本浩義アスクラロスルガ社長



ホームゲーム開催時には多くの人が集まり、そこに販売などの経済効果が生まれる。アウェーチームとの交流も芽生える。例えば、青森のチームと対戦するときに、八戸と沼津の物産展を開くといったことだ。こうしたスポーツを通じた産業振興を戦略的に進めようと、県東部では「県東部地域スポーツ産業振興協議会」が官民あがて立ち上がった。同協議会はクラブ部会を作り、アスクラロ沼津の活動を支援していただけるということで心強い。

伊豆半島の目指す方向性を示し、伊豆の未来を創造することを目的に7市6町首長会議が策定した「伊豆半島ランドデザイン」。その推進組織「美しい伊豆創造センター」が昨年4月に稼働を始めました。



美しい伊豆創造センターが始動

「伊豆を一つに」をテーマに、世界から賞賛され続ける地域を目指し策定された伊豆半島ランドデザインを推進する、それが同センターの使命です。理事会、幹事会、事務局、3部会（観光・ジオ・道路）を設置し、それぞれがランドデザイン推進のための事業計画の立案と執行について協議します。また、各市町首長からなる理事会と、幹事会は各市町企画担当 部課長、交通事業者・観光協会の代表で構成されています。

【組織の概要】



○主な事業

- (1) 伊豆半島の地域振興を図るための企画・調整・立案に関すること
- (2) 伊豆半島に共通する誘客事業を国内外において展開すること
- (3) 伊豆半島の自然・文化・歴史・産業等の情報収集及び情報発信に関すること
- (4) 伊豆半島のインフラ整備・景観の保護・ユニバーサルデザイン化の推進に関すること
- (5) 伊豆半島に地域振興を図るための人材育成に関すること
- (6) 伊豆半島ジオパークの推進に関すること

- (7) 伊豆半島全体の道路ネットワークの活用による地域活動の創造に関すること
- (8) 伊豆半島の防災対策の啓発、促進に関すること
- (9) その他目的達成に必要な事項に関すること



■ロゴマーク ～ クラスタを表現

伊豆半島を構成する市町を一房のブドウになぞらえ、東名高速道路と伊豆縦貫自動車道をブドウの軸に、富士山を葉に見立てている。各市町が団結し、世界から賞賛され続ける美しい半島・伊豆を目指すことを表現しました。

世界に輝く伊豆の創生を

伊豆地区分科会 2015.7.22

テーマ:

「伊豆が観光地としての競争力を
高めるための課題と可能性」

伊豆地区分科会では、少子高齢化や地域間競争など課題が山積する伊豆半島が、再度観光地として選ばれる地域になるための方策とは何か、また「美しい伊豆創造センター」の役割を探りました。

○ パネリスト

NPO法人全国街道交流会議専務理事 古賀方子氏
 函南町長（美しい伊豆創造センター会長） 森 延彦氏
 静岡県立大学経営情報学部講師 国保祥子氏
 落合楼村上社長 村上昇男氏

○ 進行

企業経営研究所常務理事 中山 勝氏
 （サンフロント21懇話会TESS研究員）

パネル討論要旨

村上社長は、外国人観光客の誘致に向けて情報インフラ拡充の必要性を指摘。また、「人材確保が重要」として、自社の人材育成の取り組みを説明しました。国保講師は、人口減に悩む離島の島根県海士町が地元の高校の魅力向上や町役場の改革などを通じて島外から若者らの受け入れに取り組んでいる事例を紹介し、「若者を呼ぶためには地元の人の覚悟が必要」と述べました。森町長は「伊豆は最後の転換期を迎えている。今が絶好のチャンス」と語り、伊豆縦貫道など交通基盤の整備や伊



■古賀氏



■森 氏



■国保氏



■村上氏



■中山氏

豆地域の道の駅、観光関連団体の連携強化、地域住民の意識変革の重要性を訴えました。古賀専務理事は、世界遺産となった伊豆の国市の韮山反射炉を築造した韮山代官江川英龍ゆかりの都市間の交流、伊豆地域と文豪たちの関わりの活用を提案しました。

富士山が世界遺産に登録されて4年目を迎えます。懇話会活動でも、富士山の保全や景観を生かした地域振興の取り組みを取り上げてきました。今後も、富士山に負荷を与えない活用方法を提案、支援していきます。



富士山世界遺産センターが着工

県が富士宮市宮町の富士山せせらぎ広場に建設を予定している「富士山世界遺産センター」の建設が始まりました。世界遺産富士山の文化的価値を保存管理する情報発信・学術研究拠点として、2017年10月末の完成を目指しています。約7000平方メートルの敷地に、鉄骨造り5階建て延べ床面積約3400平方メートルの施設を整備します。逆円すい形の木格子で「逆さ富士」を表現した、目を引く斬新なデザインが特徴です。富士登山を疑似体験できるらせん状のスロープを設け、各フロアでは「信仰の対象」「芸

術の源泉」と称される富士山の大自然や歴史文化を、映像や模型、文化財を用いて紹介します。



■富士山世界遺産センター完成イメージ図(HPより)

【富士山世界遺産センター基本コンセプト】

コンセプト	機能
永く 守る	富士山の価値の次世代への継承～保護・管理～
楽しく 伝える	富士山の多彩な価値の伝達～展示・情報発信～ 富士山の「楽習」機会の提供～学習支援～
広く 交わる	富士山を通じた交流機会の創出～交流促進～
深く 究める	富士山の価値の探求～調査研究～

富士山をテーマに御殿場市で初の開催

富士山地区分科会 2015.11.2

テーマ:

「世界遺産『富士山』を真の観光地とするために」

○ パネリスト

政府認定「観光カリスマ」、JTIC.SWISS代表

山田 桂一郎氏

女優

工藤 夕貴氏

○ 進行

シード取締役副社長

青山 茂氏

(サンフロント21懇話会シンクタンクTESS研究員)

懇話会はこれまでの富士地区分科会の名称を富士山地区分科会と改め、今月2日、御殿場市で初開催しました。「世界遺産『富士山』を真の観光地とするために」と題したスペシャルトークを行いました。



■山田氏



■工藤氏



■青山氏

パネル討論要旨

富士宮市で自然農法やレストラン経営を続ける女優の工藤夕貴氏は、「富士山に登るのは、不死身の体を得られる感覚があったと聞きます。世界中で唯一神が多い中、日本人は八百万(やおよろず)の神を信じる国民性です。そういう神秘的の国を体感してもらえるものがないと思

います」と語りました。山田氏は「富士山のマーケティングは誰がするのでしょうか」と疑問を投げかけ、問題を解決するには、まず「総括」し、次に山梨・静岡に共通した「理念」を作るべきと語りました。

韮山反射炉が世界遺産に登録

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は2015年7月に世界文化遺産に登録されました。幕末に韮山代官江川坦庵が国防のために作った韮山反射炉もその構成資産として登録。15年度の入場者数は前年度と比べて6.8倍の72万6000人を超えました。休日には平均3000人が訪れる名所となっています。韮山反射炉のある伊豆の国市は12月にオープンを目指す見学者向けのガイド施設を建設しています。また、ハード整備だけでなく、ガイドの育成強化にも力を入れていきます。



ファルマバレープロジェクトの第3次戦略計画（2011～20年度）策定から3年が過ぎ、今後重点化すべき施策や新たな数値指標が設定されました。改定では、最終年度の目標額が倍増し、研究開発拠点の整備が盛り込まれました。

新拠点施設「静岡県医療健康産業研究開発センター」

地域企業開發生産ゾーン

2016年3月オープン

医療健康産業へ参入した地域企業が事業拡大に向け、開発と生産を一体的に行うレンタル工場として活用する。

東海部品工業が入居

プロジェクト支援・研究ゾーン

2016年9月オープン

中核支援機関「ファルマバレーセンター」が入居し、地域企業などをワンストップで支援する。また、研究開発室には研究開発を行う企業や、コンサルタントが入居する。常設展示場、リフレッシュスペース、会議室などを設け交流の場の提供や

医療人材の育成を図る。

リーディングパートナーゾーン

2016年3月オープン

自ら高度な研究開発などを進めながら、地域企業や入居企業を積極的に支援する大手企業が開発・生産の拠点として活用する。

テルモMEセンターが入居

生産額目標額を1兆円から2兆円に

第3次戦略計画改定のポイントは大きく2つ。1つ目は、重点施策項目の設定。第3次戦略計画の4つの戦略を効率的・効果的に推進するため、今後重点化すべき施策を13項目設定しました。2つ目は、数値指標の見直しで、これまでの3年間の状況や、新拠点施設の開所などを考慮し、今までに達成した13項目中7項目を上方修正しました。世界展開の推進に向けて新設した、医療機器の品質マネジメントシステム「ISO13485」の新規取得企業数の指標は14社としました。

3年毎の戦略計画見直しに基づく改定で、中間評価、戦略計画検討委員会及びパブリックコメントによる意見などを踏まえました。

ファルマバレープロジェクト

第3次戦略計画改訂のポイント

1. 重点施策項目の設定

第3次戦略計画を効率的・効果的に推進するため、今後重点化すべき施策として「テーマの重点化による開発の推進」や「高度な産業人材の育成」など13項目を設定

2. 数値指標の見直し

【達成された数値指標13項目中7項目を上方修正】

医薬品・医療機器合計生産金額 **1兆円→2兆円**

ファルマバレープロジェクトによる事業化・製品化件数 **60件→80件**

ファルマバレーセンターコーディネートによる共同研究実施件数

100件→125件 など

【重点化施策項目に対応する新たな数値指標の設定】

医療機器の品質マネジメントシステム (ISO13485) 新規取得企業数 **14社**

次のステップへ新拠点整備

この3月、さらなる高みを目指すため、研究から製造・販売までに必要な機能を集約させた新たな拠点「静岡県医療健康産業研究開発センター」がオープンしました。

同センターの維持管理はファルマバレーセンターが担っています。新たにラボマネージャーを配置し、パートナー企業やプロジェクト支援・研究ゾーンに入居する専門家とともに、入居企業の支援のみならず地域企業を対象に新拠点施設を活用した様々な事業を展開予定です。

オープンイノベーションを戦略的に進める3つのゾーン（リーディングパートナーゾーン、地域企業開発生産ゾーン、プロジェクト支援・研究ゾーン）が設定されており、3月にオープンしたリーディングパートナーゾーンには、テルモMEセンターの入居が決定。自ら高度な研究開発を進めながら、リーディングパートナーとして

地域企業、入居企業を支援します。同じく地域企業開発生産ゾーンは、自動車部品製造分野から医療機器分野へ参入した東海部品工業が入居しました。

プロジェクト支援・研究ゾーンは9月1日に入居企業に引き渡しを予定。5社の入居が決定しています。

また、企業の入居スペースに加え、常設展示スペースや貸会議室を整備。常設展示スペースは、地域の医療機器製造企業や部材サプライヤーなどへのPRの場や、プロジェクトに関する新製品などの発表の場として活用。貸会議室は200人規模の交流ホール、100人規模の大会議室、40人規模の中会議室、20人規模の小会議室が用意され、活発な意見交換の場になることが期待されています。



【リーディングパートナーゾーン】	
テルモMEセンター	医療電子機器（ME機器）の開発、製造、メンテナンス
【地域企業開発生産ゾーン】	
東海部品工業	マイクロネジ製造、医療用ネジ及びインプラント材・医療用機器の研究開発・製造・販売
【プロジェクト支援・研究ゾーン（研究開発室）】	
オリンパステルモバイオマテリアル	セラミックス・コラーゲン・金属を素材とするインプラント製品及びこれらの素材を複合化した製品などの研究・開発
サンスター	全身と口腔の関わりをベースにした、がん患者の支持療法及びQOL向上に用いる製品の研究・開発
深澤電工	小型・高性能電子基板技術を生かした医療機器製品の研究・開発
オフィス長谷川合同会社	薬事申請支援業務やQMS体制構築支援などの各種薬事コンサルティング・支援
特許業務法人 樹之下知的財産事務所	知的財産に関するコンサルティング、発明相談・内外国出願代理・知財調査、研修会開催等の支援業務

■研究開発センターに入居が確定した企業

懇話会の20周年記念事業として、「人と動物が共生できる社会」を目指し沼津地区に建設が予定されていたアニマルシェルターは、諸事情により中止となりました。しかし、現在、動物のためのNPO法人の設立が予定されています。こうした動きを懇話会も積極的に支援していきます。



殺処分ゼロの社会を目指して

静岡県のホームページによると、県内の犬・猫の殺処分数は10年前と比べ、大幅に減少をしています。猫を見ると2005年の9552匹から2014年は2484匹に、犬は2005年の2046匹が2014年には181匹になりました。今後もこうした傾向は続くと考えられます。

かけがえのないパートナーである動物たちと、私たち人間が幸せに暮らせる成熟社会を目指し、現在、設立準備中の「NPO法人人と動物のハッピーライフ（仮称）」は、

- ①動物の殺処分ゼロ化推進事業
- ②動物愛護、福祉の普及啓発事業
- ③動物同伴環境の拡大事業
- ④動物預かり事業

の4つを柱に活動をしていく予定です。



■県健康福祉部生活衛生局HPより



■NPOパンフレット

動物愛護に広く理解を

東部地区分科会 2016.2.18

テーマ：
「人と動物が共生できる社会の実現を目指して」

○ パネリスト

NPO法人アニマルレフュージ関西理事長
エリザベス・オリバー氏
伊豆市市長 菊地 豊氏
NPO法人静岡県補助犬支援センター理事長
川口 綾氏

○ 進行

静岡経済研究所常務理事 大石人土氏

パネル討論要旨

動物愛護先進国のドイツに滞在経験のある菊地豊伊豆市長は、ドイツの犬は必ずトレーニングされていることなどを紹介し、「2020年の東京五輪で自転車競技が開催される伊豆市には世界中から多様な価値観の人が訪れる。どのような対応を取らねばならないかを考えたい」と決意を述べました。NPO法人県補助犬支援センターの川口綾理事長は「県内には盲導犬などの補助犬が53頭いるが、入店を拒否されるケースもある。理解が広まってほし

東部地区分科会では、動物福祉に関する欧米と日本の違いや、アニマルシェルター設置の必要性、課題について議論しました。



■エリザベス氏



■菊地氏



■川口氏



■大石氏

い」と訴えました。NPO法人アニマルレフュージ関西のエリザベス・オリバー理事長は「日本には動物のセーフティーネットがないなど、先進国の中で動物福祉のレベルは低い。この分野でもリーダーになるべき」と指摘しました。

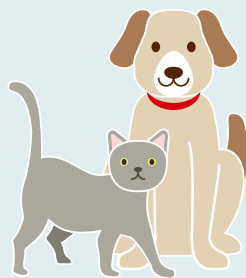
動物の愛護と福祉を啓発—SBSラジオに新たな番組が誕生

「わんこ&にゃんこのHappy Life～僕らはみんなで生きている」

懇話会活動方針のひとつ、「人と動物の未来センター」の開設支援に関連して、SBSラジオでは、動物の愛護と福祉を広く啓発する番組を10月から開始しました。

タイトルは「SBSラジオ わんこ&にゃんこのHappy Life～僕らはみんなで生きている」。

私たちに寄り添い、生活に潤いと愛情を与えてくれるペットたち。そのペットにとって「幸せな生活」とはどんなものでしょうか。番組では、犬や猫たちの育て方や接し方をはじめ、ペットに関わる人たちや様々な施設の紹介や、ペットと暮らす知恵や情報を取り上げ、人間とペットとの「Happy Life」を考え、「共に生きている喜び」や「命の大切さ」を伝えていきます。



■パーソナリティ大城栄里さん

■放送枠

毎週日曜 7:30～7:45 (15分番組)

■MC

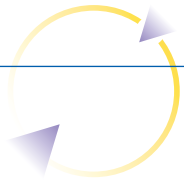
大城栄里 (おおしろえり)

保育士、トリマー、静岡県動物保護管理指導員。

橋本奈都江フリーアナウンサー

(元SBSアナウンサー)

トリマーの資格を持つ動物好きのパーソナリティ



サンフロントから情報発信

ラジオ EAST

<http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>

SBS ラジオ 毎週土曜日

11:00 ~ 12:55

サンフロント21懇話会が母体となり、東部・伊豆の地域情報を2時間にわたりお届けする「Radio*East」。清水町の大型ショッピングセンター、サントムーン柿田川内に開設されたサテライトスタジオ「LISPA」は東部・伊豆の情報

発信、文化創造拠点としてにぎわいを見せています。

番組恒例の公開放送は全部で5回。各地のイベントや魅力スポット、地元でしか食べられないご当地グルメ情報などをお送りしています。



ラジオ EAST ホームページ

ホームページでは、番組で取り上げた話題を写真とテキストで紹介しています。「EAST食べちゃうぞ!」や「温泉へ行こう!」など、各コーナーはバックナンバーも充実。東部・伊豆にお出かけの際はぜひご利用下さい。

URL <http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>



新聞特集記事「風は東から」

<http://www.sunfront21.org/>

静岡新聞東部版・朝刊

毎月 第4日曜日掲載

東部地域の活性化に向けたさまざまな取り組みや、サンフロント21懇話会の活動の一端を毎月1回、新聞紙上で紹介する「風は東から」。

連載18年目を迎え、去年は、オリンピック自転車競技開催を契機に自転車によるまちづくりが進む県東部の現状や、「伊豆はひとつ」をコンセプトに設立された美しい伊豆創造センターの概要などを取り上げました。



新聞特集記事 「熱き地域人」

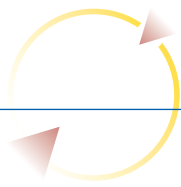
本紙に連載。地域振興に取り組む懇話会会員の「熱き思い」をインタビュー形式で紹介しています。



■ サンフロント21 懇話会 ホームページ

サンフロント21懇話会活動がひと目で分かるホームページ。懇話会の設立趣旨・沿革をはじめ、新聞「風は東から」のバックナンバーや、1年間の活動をまとめた冊子「飛躍」などが閲覧できます。

URL <http://www.sunfront21.org/index.html>



2016 年度活動方針

当懇話会の活動は22年目に入ります。これまでの活動を踏まえ、中長期的な視点から継続的に取り組む提言・支援活動を▽ファルマバレープロジェクトの推進▽広域連携の推進▽新たな観光交流戦略の促進と支援一に決めました。さらに本年度からは▽2020年東京五輪・伊豆市開催の支援を加えます。活動方針の実現に向けたテーマは以下の5項目です。

■ スポーツを通じた地域創生の支援

今年から静岡県と自転車競技の盛んなイタリアのフリウリ・ベネチア・ジュリア州の交流が始まります。富士山と同様、ジュリア州にあるイタリアを象徴するゾンコラン山が縁となり、今年10月、富士山麓（小山町）と富士山を望む伊豆半島西海岸でのサイクリング大会が開催されます。さらに2020年東京五輪の自転車競技（トラック・MTB）会場が伊豆市に決まりました。交流人口の増大を見込める自転車的一大イベントが相次ぐ絶好機です。文化と信仰の対象である富士山の付加価値を高めるため、さらにジオサイトや温泉など自然に恵まれた伊豆半島を世界に発信することで、富士山と伊豆が自転車の聖地

となるための提言、支援活動に取り組みます。

サッカーJ3への参入を目指すJFL「アスクラロ沼津」は、沼津のみならず、岳南、北駿、伊豆地区を含めた東部地域の経済と『心』の活性化に結び付く重要なスポーツチームの一つです。上位リーグへの昇格を果たすことで、子どもたちにさらなる夢を与え、飲食・宿泊をはじめとする幅広い経済効果が期待できます。県東部の市町と地元企業が連携し、スポーツ産業の創出を目指す「県東部地域スポーツ産業振興協議会」の活動が3年目に入りました。スポーツを切り口にした産業振興を進める同協議会の動きを応援し、地域創生につなげていきます。

■ 伊豆の老舗旅館と文豪の関わりを物語化した観光ルートを開発する

伊豆半島には明治以降、旅情を求めて多くの作家や詩人が旅し、滞在し、さまざまな作品を世に送り出しました。伊豆は東京の奥座敷である一面、秘境の趣き



があり、都会の喧騒を離れた作家たちは、伊豆の自然や人情、温泉、食を愛でながら創作に励みました。その足跡や交友の跡は、伊豆ならではの文化として未だ、この地に残されています。そこで地域活性化を主眼とした文化庁の日本遺産への登録を視野に入れ、「伊豆の老舗旅館と文豪遺産」（仮題）をテーマに、伊豆半島に現存する旅館と文人・墨客との関わりを、地域の伝統や文化などを盛り込んで「ストーリー化」した観光ルートを開発します。日本遺産への認定を実現すべく、当該市町や美しい伊豆創造センターなどの協力態勢をつくり、日本遺産の登録申請を推進します。文化庁は東京五輪・パラリンピックが開催される2020年までに100件の認定を目指しています。

■ 世界遺産を守り、育てる支援

世界遺産登録から4年目を迎える富士山。世界遺産委員会で認められた「信仰の対象や芸術の源泉」という“原点”に返った取り組みが必要です。静岡県が2017年10月の完成を目指す、富士山の保存管理や情報発信の拠点となる「富士山世界遺産センター」の利用促進とともに、神社仏閣などソフトパワーを持つ構成資産を巡る歴史・文化観光をはじめ、トレイルやサイクリングといったスポーツを活用した周遊観光の振興や富士山を背景とした富

士市の工場夜景の利活用の推進など、富士山に負荷を与えない活用方法を提案、支援していきます。

また、登山者数を制限する登録制度の導入をはじめとする富士山の包括的な保全・管理の在り方を提言し、「世界遺産を守り、育てる」両県民の自覚を促す活動を展開します。その活動の一環として周年観光にも結び付く山梨県側の富士スバルライン、静岡県の富士山スカイラインの登山鉄道敷設の可能性などの研究に取り組みます。

■ 動物愛護と福祉思想の啓蒙・啓発と保護施設の開設支援

動物保護施設（アニマルシェルター）は当懇話会が2011年度、静岡県知事に設置を提言しました。沼津市には時代を先取りする施設と評価をいただき、同市での開設を支援してきました。地元の同意が得られず、建設は中止となりましたが、動物の愛護・福祉思想の高まりや普及、さらに人口減少にも関わらず、ペット飼育に関する2013年12月の日本ペットフード協会調査では、犬はやや減少傾向にあるものの、猫は横ばいです。犬猫の殺処分ゼロの実現、飼い主の病气入院や転居、死亡などやむを得ない事情で行き場を失った犬猫を保護し、新しい家族（飼い主）

を見つけることを目的とする動物保護施設の必要性、重要性は今後、ますます高まっていくと考えます。

伊豆市が2020年の東京五輪の自転車競技の会場に決まりました。自転車競技の強豪国は、動物愛護意識の高い欧米の国々です。会場整備やアクセス整備はもちろん、活動を通じて伊豆・東部が動物に優しい地域に成長していくことが五輪開催に向けた側面支援になります。動物保護施設は、動物愛護イベントの開催などを通じて交流人口の拡大に寄与することも期待でき、新たな地域創生の拠点となり得る施設です。

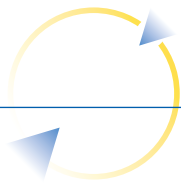
■ アグリノベーション・リサーチセンター構想の推進

静岡県は、健康増進のための機能性が科学的に明らかにされた農作物など「アグロメディカルフーズ」の研究開発に取り組む拠点施設を2015年に閉校した東海大開発工学部（沼津市西野）に設ける方針です。2017年の開所が見込まれており、県は農作物の機能性を高める栽培条件や生産システムの構築を、光・計測関係のトップグループの一つである理化学研究所や農業情報科学のリーダーである慶應義塾大学と共同研究を進めていきます。当懇話会は

アグロメディカルフーズの研究開発プロジェクトとファルマバレープロジェクトとの連携を視野に入れながら、健康長寿

日本一を支える食のブランド化や情報発信を支援・推進していきます。





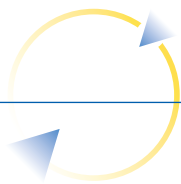
会員名簿

● 会員 (2015年度)

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
愛屋 博司	プラサ ヴェルデ	館長	上野 充史	(株)エム・エス・エス	総務・経理部長
青山 茂	(株)シード	取締役副社長	植松 孝康	(株)植松	代表取締役
赤堀 肇紀	赤武エンジニアリング(株)	代表取締役社長	植松 恒裕	(株)静岡新聞社	編集局長
秋山 勇雄	SBS マイホームセンター(株)	取締役社長	植松 眞	(株)トーヨーアサノ	代表取締役
秋山 勇雄	(株)静岡新聞社	常務取締役	魚躬 弘	日本生命保険相互会社沼津支社	支社長
秋山 佳彦	(株)秋山機器	代表取締役社長	臼井 良太	臼幸産業(株)	代表取締役
揚野江利子	揚野法律事務所		宇田川 茂	(株)伊豆フェルメンテ	代表取締役社長
浅羽 愛子	あさば旅館涵翠閣	代表取締役	内田 豪	(株)ダイナナ	代表取締役社長
浅見 律子	SMBC日興証券(株)沼津支店	支店長	内田 進	熱海商工会議所	会頭
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長	内田 繕博	(医療法人社団) SEISEN 清泉クリニック整形外科	院長
足立 吉松	足立会計事務所	所長	内野 徹太	大岡建設工業(株)	代表取締役
安達 行彦	静岡県富士土木事務所	所長	内山 義郎	スルガ銀行(株)	常務取締役
阿部 欣成	富士通(株)沼津工場	工場長	宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長
雨宮 潔	(株)静岡伊勢丹	代表取締役社長	梅村幸一郎	国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所	事務所長
飯田 悦郎	飯田工業薬品(株)	代表取締役	梅本 和熙	南伊豆町	町長
伊海 剛志	(株)イカイ	代表取締役社長	漆畑 昌宏	静岡放送(株)	ラジオ局長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	海野 和雄	静岡ガス(株)東部支社	常務執行役員東部支社長
池田 誠	池田病院	院長	遠藤 茂美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
池谷 洋一	静岡県東部健康福祉センター	所長	遠藤 忠男	(有)遠藤新聞舗	代表取締役
石井 大介	(株)富陽軒	代表取締役	遠藤日出夫	長泉町	町長
石井 文弥	東海自動車(株)	代表取締役社長	大石 剛	(株)静岡新聞社	代表取締役社長
石井 誠	(株)石井組	代表取締役社長	大石 人士	(一財) 静岡経済研究所	常務理事
石川 三義	社会福祉法人春風会	理事長	大浦 孝雄	愛車の救急車(有)	代表
石川雄一郎	石川建材工業(株)	代表取締役社長	大塩 秀樹	黄瀬川自動車学校	代表取締役社長
石川 征雄	(株)ミツイシ	代表取締役	大須賀紳晃	(株)静岡新聞社	取締役社長室長
石塚基一郎	静岡県沼津土木事務所	所長	太田 克彦	(株)ブレーション	取締役社長室長
石間 尚雄	(株)TOKAIケーブルネットワーク	常務取締役	太田 長八	東伊豆町	町長
伊丹 秀之	(有)松韻	代表取締役社長	大嶽 正泰	宗教法人三明寺	代表役員
井出 稔	富士商工会議所	会頭	大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
伊藤 高義	富士川まちづくり(株)	代表取締役社長	大野 数芳	(株)大野商店	代表取締役
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長	大村 保二	沼津市商工会	会長
伊藤 充宏	静岡放送(株)	報道局長	小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
稲田 精治	三島信用金庫	理事長	小笠原久幸	日本電気(株)沼津支店	支店長
稲葉 常宏	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長	岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長
稲葉 良司	(一社) 伊東観光協会	副会長	荻田 勝雄	富士急シティバス(株)	相談役
井上 靖	ダイワロイネットホテルぬまづ	支配人	奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役会長
植草慎一郎	(株)康報社植草新聞店	代表取締役社長	刑部 治	(有)啓伸社刑部新聞店	代表取締役
上田 和佳	(株)JTB 中部沼津支店	支店長	音羽 徹	日本製紙(株)富士工場	執行役員富士工場長
植田 勝智	(公財) 静岡県産業振興財団ファルマレーセンター	所長	小野 徹	小野建設(株)	代表取締役

氏名	会社名	役職
小野登志子	伊豆の国市	市長
柿島 直人	三島函南農業協同組合	代表理事組合長
影山 桓義	(株)影山運輸	代表取締役会長
河西晋二郎	沼津開発興業(株)	代表取締役
片淵 典利	(株)港	代表取締役
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長
勝又 敏雄	(株)カジマヤ	代表取締役社長
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役会長
勝間田久嗣	二葉建設(株)	代表取締役社長
勝又 寛治	(株)沼広	代表取締役
勝又 安彦	(株)勝又新聞店	代表取締役
桂 英治	静岡放送(株)	代表取締役社長
加藤 和彦	(株)コーゲツ	代表取締役
加藤 滋幹	Knt 近畿日本ツーリスト(株)沼津支店	支店長
加藤 修一	(株)加藤工務店	代表取締役
加藤 昌利	(株)ホテル銀水荘	代表取締役社長
加藤瑠美子	(学) 加藤学園	副理事長
神尾 啓治	マックスバリュ東海(株)	代表取締役社長
神谷 真好	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター	センター長
神谷 義之	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター	センター長
河田 亮一	加和太建設(株)	代表取締役
河西 幸一	明德建設(株)	代表取締役
川原崎康雄	(株)マキヤ	代表取締役
菊地 広明	大東紡エステート(株)	取締役社長
菊地 豊	伊豆市	市長
杵島 栄二	(有)高商	代表取締役
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長
北村 敏廣	(株)静岡新聞社	代表取締役専務
北村 誠	静岡県下田財務事務所	所長
木戸 英壽	沼津商工会議所	専務理事
君澤 安生	(株)CFSコーポレーション	取締役
木村 昌宏	木村美都子税理士事務所	税理士
楠山 俊介	下田市	市長
栗原 裕康	沼津市	市長
黒崎 泰	コアレックス三栄(株)	代表取締役
小島 一彦	(株)オトワコーエイ	代表取締役
小滝 勝昭	富士信用金庫	理事長
小滝すみ子	(株)三喜	代表取締役
後藤 全弘	(株)ゴトー	相談役

氏名	会社名	役職
後藤 信昭	沼津市立病院	病院長
後藤 行宏	(株)ゴトー	代表取締役会長
小長井義正	富士市	市長
小林 省吾	(株)小林製作所	代表取締役会長
小堀 信行	木内建設(株)沼津支店	支店長
込山 正秀	小山町	町長
小山 真人	(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店	店長
近藤 安敞	近藤鋼材(株)	代表取締役会長
近藤 良夫	近藤良夫会計事務所	所長
齋 秀	(株)東海建設コンサルタント	代表取締役
齋藤 研一	沼津リバーサイドホテル	顧問
齊藤 栄	熱海市	市長
齊藤 大	伊東ガス(株)	代表取締役社長
西頭 徳三	常葉大学富士キャンパス	学長
齊藤 弘幸	(株)東海ソフトウェア	代表取締役社長
斎藤 文彦	松崎町	町長
齊吉 文幸	米久ベンディング	代表取締役
佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役
坂本 光司	法政大学大学院 政策創造研究課	教授
桜井 孝洋	静岡県田子の浦港管理事務所	所長
佐々木 尋	東京海上日動火災保険(株)静岡自動車営業部	沼津営業課長
佐々木道武	大成有楽不動産(株)浜松営業所	浜松営業所長
佐藤 一彦	静岡県東部危機管理局	局長
佐藤 圭子	静岡県総合健康センター	技監
佐藤 孝行	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
佐藤 秀樹	(株)サトウ商会	代表取締役
佐藤 宗徳	(株)佐藤建設	取締役管理部長
佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役
佐野 正幸	(有)佐野新聞店	代表取締役
佐野雄一郎	スルガコンピューターサービス(株)	代表取締役
塩野 敏晴	(一財) 静岡経済研究所	主席研究員
篠原 寛	富士宮信用金庫	理事長
斯波 幹和	(株)サン	代表取締役社長
庄司 清和	(株)時之栖	代表取締役会長
白井 満	静岡県東部農林事務所	所長
白鳥 隆司	静岡県賀茂農林事務所	所長
杉本 隆一	静岡県賀茂振興局	局長
杉山 定久	南富士(株)	代表取締役
杉山 雄一	(株)杉山鉄工	代表取締役

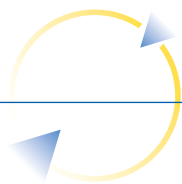


会員名簿

● 会員 (2015年度)

氏名	会社名	役職
須沢 隆弘	(株)東広	代表取締役
鈴木 和江	観音温泉	代表取締役社長
鈴木 和宏	御殿場高原ビール(株)	代表取締役
鈴木 正二	東静運送(株)	代表取締役会長
鈴木 達也	アフラック沼津支社	支社長
鈴木 経康	沼津情報・ビジネス専門学校	校長
鈴木 浩靖	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員沼津支店長
鈴木 文三	サンコー防災(株)	代表取締役
鈴木 道也	南駿農業協同組合	代表理事組合長
鈴木 幸彦	清水物産(株)	代表取締役社長
須田 哲司	(株)MYコミュニケーションズ	代表取締役
須藤 秀忠	富士宮市	市長
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
諏訪部敏之	丸善工業(株)	会長
清 哲也	(株)大石組	代表取締役社長
関本 芳英	東海金属工業(株)	代表取締役会長
芹澤 郁雄	静岡県下田土木事務所	所長
芹沢 和彦	東タイ(株)沼津工場	工場長
相馬 宏行	河津町	町長
高木 宏通	静岡県熱海財務事務所	所長
高瀬 直樹	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長
高橋 安雄	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
高村 謙二	裾野市	市長
滝浪 勇	静岡県東部地域政策局	局長
竹林 圭介	静岡県富士農林事務所	所長
田代 恵子	静岡県富士財務事務所	所長
田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
只野 晃	総合警備保障(株)沼津支社	支社長
田子 博英	スルガカード(株)	代表取締役社長
立岩 紀尚	西日本電信電話(株)沼津支店	支店長
田中 実	(株)静岡新聞社	東部総局次長兼業務部長
谷川 治	(株)静岡新聞社	常務取締役
田村 治義	ニューウェルサンピア沼津	総支配人
田村 泰樹	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
千葉 慎二	(株)鈴木工務店	代表取締役社長
佃 弘巳	伊東市	市長
辻 明久	(有)メイク・エンタープライズ	代表取締役
土屋 順一	東海建設(株)	代表取締役
土屋 誠司	(株)富士和	代表取締役会長

氏名	会社名	役職
土屋 忠博	(株)電業社機械製作所	代表取締役社長
土屋 敏博	(株)東報	代表取締役社長
土谷 直人	ニッセー防災(株)	代表取締役
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋雄二郎	雄大(株)	代表取締役
土屋龍太郎	土屋建設(株)	社長
堤 親朗	(株)イブラシ	代表取締役
常峰 啓史	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長
坪内 祐一	三島商工会議所	専務理事
都溜 浩司	(株)関電工静岡支社	執行役員静岡支社長
寺崎 啓介	住友生命保険相互会社沼津支社	支社長
土井 宣博	(株)雅心苑	代表取締役社長
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授
豊岡 武士	三島市	市長
鳥居 清美	(株)エイワンスポーツプラザ	代表取締役
永倉 聡	沼津通運倉庫(株)	代表取締役社長
長澤 一成	(株)耕文社	代表取締役社長
長島 郁夫	沼津埠頭(株)	代表取締役
中嶋 三恵	(株)山六ひもの店	代表取締役
中島 幹雄	(一社)熱海市観光協会	代表理事
中西 芳弘	静岡県沼津財務事務所	所長
中村 仁	伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長
中山 勝	(一財)企業経営研究所	常務理事
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長
西島 洋司	医療法人社団親和会西島病院	理事長
新田恭一郎	(株)ホテルサンバレー	代表取締役
能見 哲理	野村証券(株)沼津支店	支店長
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役会長
服部巖一郎	(株)チキリ	代表取締役社長
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長
林 和子	ハヤシ工業(株)	代表取締役
原 和也	(株)静岡新聞社	取締役東部総局長
原 浩之	(学)原学園専門学校白寿医療学院	理事長
原口 茂	富士商事(株)	代表取締役
東岡 宏明	ひがしおかメディケアクリニック	院長
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長
兵藤 真一	MOAインターナショナル	広報担当
日吉 晴久	(株)テクノサイエンス	代表取締役
平井 克弘	スルガ銀行	執行役員本店長



幹事・委員

幹事（50音順、敬称略）

氏名	会社名	役職	住所
井出 稔	富士商工会議所	会頭	富士市
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長	沼津市
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役社長	沼津市
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	伊東市
常峰 啓史	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長	沼津市
堀田 大洋	沼津信用金庫	相談役	沼津市
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長	駿東郡
峰田 武	(公財) 佐野美術館	理事長	三島市
矢田部盛男	三嶋大社	宮司	三島市

運営委員（50音順、敬称略）

氏名	会社名	役職	住所
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	沼津市
池田 誠	池田病院	院長	駿東郡
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長	沼津市
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長	沼津市
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役	三島市
片山 劼	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	伊東市
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役会長	裾野市
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長	駿東郡
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役	下田市
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長	三島市
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長	沼津市
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長	沼津市
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	三島市

<アドバイザー>

大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
坂本 光司	法政大学大学院	教授
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授

< TESS 構成員 >

西島 昭男	(株)シード	委員長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	顧問
羽野 久雄	羽野水産(株)	顧問
宇野 統彦	(株)桃中軒	委員
小野 徹	小野建設(株)	委員
諏訪部照久	(株)スワベ商会	委員
青山 茂	(株)シード	研究員
大石 人士	(一財) 静岡経済研究所	研究員
塩野 敏晴	(一財) 静岡経済研究所	研究員
中山 勝	(一財) 企業経営研究所	研究員
三沢 泰	静岡県東部地域政策局	研究員
和田 誉雄	静岡県賀茂振興局	研究員



2015年度を振り返って

サンフロント21懇話会 運営委員長

伊東法律事務所 所長

伊東 哲夫

はじめに、4月に発生した熊本地震の被災者の方々には、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。今回の地震災害は、東日本大震災とはまた違う対応が難しい稀有な災害であり、防災先進県、静岡県にとっても住宅の耐震化の重要性を改めて認識させられました。1日も早く地震活動が終息し、復興に向けた動きが始まるよう祈念する次第です。

さて、2015年度は、国内外とも希望と不安が入り交じった1年だったと思います。国内では東京株式市場で日経平均株価が約15年ぶりに2万円台を回復。9月のラグビーW杯では、日本が南アフリカに劇的な逆転勝利を収め、新たな歴史を切り開くとともに五郎丸ポーズがブームになりました。一方、同じ9月には台風くずれの低気圧がもたらした記録的豪雨により、茨城県常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、自然災害の恐怖を再認識させられました。また、安保関連法案を巡っては荒れた国会運営となりました。

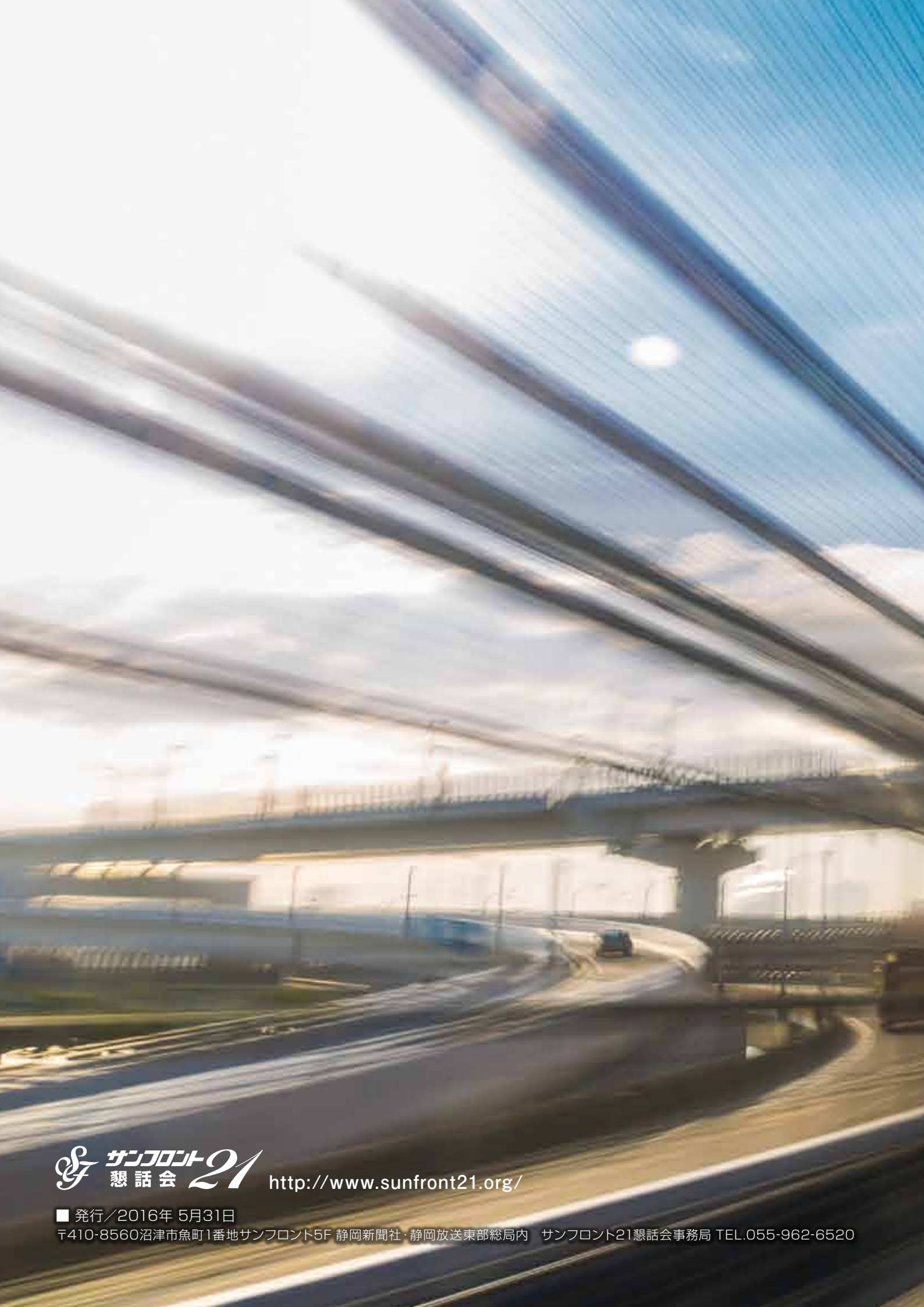
海外に目を転じると過激派組織「イスラム国」が関与したとみられる卑劣なテロが欧州各地で相次ぎ、さまようシリア難民に心を痛めました。

県内では7月に韮山反射炉が世界遺産に登録され、12月には2020年東京五輪自転車競技のうち、トラックとマウンテンバイクが伊豆市で開催されることが決まりました。伊豆半島世界ジオパーク認定が2018年春以降に先送りとなりましたものの、東部地区にはビッグニュースが続きました。

こうしたなか、サンフロント21懇話会は伊豆、富士山、東部の3地区で、世界に輝く伊豆の創生、世界遺産・富士山を真の観光地とするために、人と動物が共生できる社会の実現を目指して「などをテーマに、世界に誇る地域資源の活用による交流人口の拡大、東京五輪をにらんだ世界基準の動物愛護社会の確立などを訴えました。総会、全体会ではスポーツを通じた地域活性化の重要性などを考えました。

地域活性化は、その地域に住む人々が、その地域を愛し、自慢できる地域に育て上げることだと思います。時代の変化を的確にとらえる力と、知恵と工夫が不可欠です。逆風を追い風に変えるようなしたたかさや粘りも必要です。

サンフロント21懇話会の会員の皆様の繁栄が東部地区の活性化の原点だと捉えています。そのためにも、これまでに増して会員の皆様方のご支援、ご協力をお願いする次第です。



 サンフロント
懇話会 21 <http://www.sunfront21.org/>

■発行/2016年 5月31日

〒410-8560 沼津市魚町1番地サンフロント5F 静岡新聞社・静岡放送東部総局内 サンフロント21懇話会事務局 TEL.055-962-6520